

常染色体顕性多発性嚢胞腎（ADPKD）の方へ

当院では下記の多施設共同研究を行っております。

研究課題名	ベンズブロマロンを投与された高尿酸血症を合併した常染色体顕性多発性嚢胞腎の腎容積・腎機能の変化についての調査 -後ろ向き観察研究-
研究統括者	順天堂大学医学部附属病院練馬病院 泌尿器科 武藤 智
病院名および研究責任者の氏名	東京女子医科大学 内科学講座腎臓内科学分野 星野 純一
病院名および研究担当者の氏名	東京女子医科大学 内科学講座腎臓内科学分野 星野 純一、潮 雄介
本研究の目的および概要	本研究では、ADPKDの方にベンズブロマロンが投与された際の総腎容積増大抑制作用や腎機能に与える影響などを評価することを目的とします。 これ以外の目的のために、データが使われることはありません。 本研究は順天堂大学医学部附属病院練馬病院と大阪府済生会中津病院が中心となって、全国の複数の医療機関にわたり行う多施設共同研究です。 ADPKDの方の新しい治療法の開発につながる可能性があります。
調査データ該当機関および対象	2014年1月1日から2025年1月31日までに当院、各共同研究機関（大阪公立大学、虎の門病院、大阪府済生会中津病院）に通院もしくは入院されたADPKDの方のうち、高尿酸血症に対してベンズブロマロンを服用開始された方を対象にデータを調査します。
研究の方法（使用する試料等）	カルテに記載のある診療記録を統計解析し、ベンズブロマロン投与前後の総腎容積、腎機能がどのように変化したかを調べます。 使用するデータは、年齢、性別、身体所見、治療内容、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査等）、治療歴、処方記録、病名情報、腎臓以外の合併症（心臓、高血圧、肝臓、中枢神経）などです。
試料/情報の他の医療機関	統計解析を行うために他の医療機関への情報の提供を行

への提供および提供方法	います。
統計解析担当者	順天堂大学感染制御学講座 島田 陽介
共同研究機関名、研究責任者名	順天堂大学医学部附属病院練馬病院 泌尿器科 武藤智 大阪公立大学 代謝内分泌病態内科学 仲谷 慎也 虎の門病院 腎センター内科 和田 健彦 大阪府済生会中津病院 腎臓内科 田中 敬雄
共同研究機関名、研究担当者	順天堂大学医学部附属病院練馬病院 泌尿器科 武藤智 大阪公立大学 代謝内分泌病態内科学 仲谷 慎也、森岡史行 虎の門病院 腎センター内科 和田 健彦、関根 章成 大阪府済生会中津病院 腎臓内科 田中 敬雄、北川 聡
個人情報の取り扱い	氏名や住所等の個人を直接特定できる情報は削除いたします。 研究成果は、学会や医学雑誌で発表を予定していますが、その際も個人を特定できる情報が使われることはありません。 研究に関する情報は、研究責任者のもと保管され、研究終了後 10 年間で破棄される。
研究実施計画書および研究の方法に関する資料の入手または閲覧について	研究実施計画書および研究の方法に関する資料をご覧になりたい場合は、本研究に参加されている他の方の個人情報以外はお知らせすることができます。研究責任者にご相談下さい。
本研究の資金源および利益相反	本研究は厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）難治性腎疾患に関する調査研究班からの支援を受けて実施します。 本研究では記載すべき利益相反※はございません。 ※利益相反とは、研究の実施に際して外部との経済的な利益関係等によって、研究の実施に必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念される事態を指します。
診療情報等を研究目的に使用されたくない場合	本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に使われることを希望されない場合はデータを使用しないようにすることが可能ですので、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。本研究に参加いただけない場

	合でも将来にわたって不利益が生じることはありません。
お問い合わせ先	この研究についてわからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。 病院名・診療科：東京女子医科大学内科学講座腎臓内科学分野 電話　： 03-3353-8111（代表） 担当者： 潮　雄介